

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.15

令和5年 3月 6日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

学校運営協議会報告 2月27日開催

■令和5年度学校経営方針(案)■

今年度をベースに次の点について提案・協議されました。(詳しくは、特集として別途お知らせいたします)

「1 学校教育目標、2 目指す生徒像と将来像、3 目指す学校像」(前年度と同様)

「4 具体的な方策と取組」(優先度：高◎
中○ 下線：4年度から変更部分)

(1) 確かな学力：教育課程の工夫改善および教員の授業力向上 ○新学習指導要領の具現化⇒推進 ○GIGA スクールの浸透⇒推進 ○特別支援教育の充実 ○特別活動・総合的な学習の指導計画の工夫(モデル) ○キャリア教育の計画的実践 ○授業研究および教員相互授業参観の充実 ○生徒による授業アンケートの活用

(2) 豊かな心：主体的な生徒活動による

自己肯定感の向上：思いやりと命を大切にす

心の育成 ○生徒会および部活動を核とした生徒活動の充実 ○多様性社会に即した生徒指導の実践 ○悩み・不登校・いじめ・虐待等の早期発見と解消を図る機動的な教育相談体制の整備 ○SNS のルール・マナー教育の推進 ○考え議論する道徳の実践

(3) 健やかな体：健康的で規則正しい生

活習慣の育成 ○八中ヘルシープランの工夫・改善 ○新型コロナ感染症拡大予防行動の習慣化 ○生涯に渡る運動習慣の基礎育成 ○災害に強い学校・地域づくり ○安全な環境整備と安全意識の向上 ○地域と連携した防犯活動の推進

(4) 信頼される学校：学校・家庭・地

域連携によるチーム学校体制・八中ブランド力

の強化 ○ICT・各種たよりによる効果的な情報発信と学校・家庭・地域のネットワーク強化 ○教職員の危機管理能力の強化と不祥事根絶 ○コミュニティ・スクールの充実 ○ブロック小学校及び高校との連携強化

(5) 教職員の働き方改革：業務のス

リム化と効率化の向上：職場のモラールアップ

強化 ○デジタル化による業務軽減 ○スクラップ&ビルドの徹底 ○福利・厚生企画の充実 ○部活動の地域クラブ活動への移行(準備・検討)

■学校関係者評価■ 項目ごとに評価・協議(○：委員から ☆：学校から)

(1) 確かな学力

○主体的な学習態度の育成に向けて生徒の実態を踏まえた授業改善・実践に取り組んでおり、学び合う授業形態の改

善も図られている。☆タブレットが故障したときの予備機が少なく困っている。(市教委に予備機拡充を要望している) ☆故障の原因は、落下による破損ではなく、システムの不具合が多い。○GIGA スクールの浸透が伺える。○欠席生徒、不登校生徒へのオンライン授業配信など、以前は考えられなかったことが実行されており、GIGA スクールの今後の可能性に期待する。☆校務デジタル化では、アンケート集計、授業評価、オンライン授業配信などが有効に働いている。○放課後の活動(まなびくらぶ等)を充実できるとよい。○市川市では、電子黒板をはじめ ICT 化が進んでおり、高校としてはうらやましく思う。○全体的な学力向上と個人個人の学力向上のバランスが難しい部分もあると思うが、ICT のより良い活用を研究されるということで、とても良いことだと思う。○授業を見せていただいた際、対話を重視している姿が見られた。学校評価アンケートでも市内の平均を上回っており効果が出ていると思う。○先生方が、いろいろ工夫して子どもたちの学力を伸ばそうと努力している。

(2) 豊かな心

○学校評価アンケートの数値も良く、子

供たちにとっても心の面は一番大切なことなので、高く評価したい。○生徒一人ひとりの特徴や傾向などを把握しようとする教職員の姿勢を感じる。また個々の生徒理解を深めようとしている。○高齢者は、若者と触れ合うと「元気」をもらえる。八中に来ると、生徒が、あいさつしてくれて、さわやかで好感がもてる。合唱祭を参観して、私たちも感動パワーをもらった。○制服が変わることで多様性対応が前進する。○学習室で不登校気味の生徒のケアをしていることが大変ありがたい。○カウンセラーと生徒が気軽につながれるようになれるとよい。○オンライン授業配信は、休みがちな生徒の心にも好影響があり、期待が高まる。○SNSトラブルについては、今後も防止のための啓発を続けてほしい。○自己肯定感は社会人になっても、とても大事だと思うので、このまま進めてください。○来校するたび、生徒の元気なあいさつを聞けてすがすがしい気分になる。日々の指導の賜物だと感じる。○不登校生徒対応について、先生方が改善している姿がうかがえます。○SNSトラブルの講話を毎年可能なら、全学年受けられると望ましいと思う。○多様性社会に即した指導を期待している。

(3) 健やかな体

○生活習慣の改善やコロナ対策に取り組んでいる。運動の習慣化を図る八中ヘルシープランの更なる進展に期待している。○中学生は体と心の発達にとっても大切な時期です。体育の授業を大切にしてほしい。○新型コロナの感染防止対策等にきちんと取り組みそのようななかでも様々なことに取り組んでいるのがわかった。○アウトメディアデーを実行しようとしても私自身いつも失敗してしまうので情報というものを考えることで良い試みだと思えます。○コロナの影響で思うようにいかない部分もあったと思うが、その中でも工夫しながら、教育活動ができたと思う。○コロナ禍にありながら、常に子どもたちの健康に留意して指導してくださいました。○コロナ禍もあり運動不足を心配します。休み時間等を利用または、放課後に体を動かす機会があるといいなと考えます。

(4) 信頼される学校

○保護者や地域への情報の発信や交流に努めている様子がよくわかります。○保護者対応が大変丁寧です。○ブログで学校の様子がよくわかる。○ブログを有効活用し外部に積極的に発信しており、教育活動の様子がよくわかっ

た。○情報発信の積極的な姿勢が素晴らしいと思います。効果的な情報発信を続けてください。○ブログの発信やアンケートで寄せられた内容への丁寧な回答など信頼されようとする姿勢が強く感じられた。○各町会、自治会などの回覧板にも学校だよりを入れて地域の方々にも、もっと学校の様子を知っていただけるとよいと思えます。高齢者はネット(スマホ)をあまり見ないので。○保護者や地域が学校に寄せる信頼感が高いものがあります。今進めている八中の教育目標や目指す学校像、日常の教育活動などの「見える化」を更に進めてほしいと思えます。確実に八中の「ブランド力」は高まってきています。○各方面で学校の努力が見える。合唱祭は素晴らしかった。○外部委員の意見を今後も取り入れ学校改善に役立ててほしい。

(5) その他

○先生たちが忙しい。ご自分の家庭がある。地域の方で、できるだけサポートしたい。○書写授業のゲストティーチャーで、一日学校の授業に入ったが、先生の大変さがよくわかった。○地域支援ルームでは、広島、長崎に折鶴一万羽を贈る活動を今年も行った。3学年生徒、PT

A、OBも折鶴作りに参加してくれた。○放課後カルチャーでは、書道教室、将棋教室を今後も行う。学校部活動の地域移行の流れを踏まえ、書道、将棋の他、新たな活動も考えたい。☆部活動の地域クラブ移行は、市協議会が発足し、令和5年から三年計画で、休日の活動を地域に移行するプランが示されています。八中で「全ての部活が、すぐに地域移行する」動きは、ありません。顧問の先生が転勤し、代わりに専門的に指導できる先生がいない場合、残された部員が困らないように、地域指導者の力をお借りすることが、今後増えると想定されます。○先生方にホッとしてもらえるように「ティーチャーズカフェ」を再開したい。○協議会で、地域の方が集まって学校のことを考えてくれていることがよくわかり有難く思う。○市川工業高校としても中学校と連携しながら、本協議会の内容を学校運営に役立てたい。○本協議会で、いろいろな年代、お立場の方の考えや感想をうかがうことができて楽しく有意義だった。○今後も八中の発展を応援しています。先生方も健康に気をつけてこれからもよろしく願います。○ICTを活用した学習や情報発信で相互コミュニケーションをはかるこ

とができ、すばらしい。

■今後協議したいこと■

○不登校など悩みを抱えている子どもたちへの対応 ○多様性社会に即した指導 ○部活動の地域クラブへの移行

令和4年度学校運営協議会委員

- 稲葉保(県立市川工業高等学校長)
- 石井裕昭(京葉ガス株式会社)
- 戸田悦子(民生児童委員)
- 角谷好枝(市川市統括コーディネーター)
- 喜々津信恵(学校支援コーディネーター)
- 水嶋雅(元小学校校長)
- 二村順子(前PTA役員)
- 平田朋子(前PTA役員)
- 大町吉彦(PTA会長)
- 錦織麻子(PTA副会長)
- 学校代表者(校長・教頭・教務主任)

市教委:学校地域連携推進課担当者

※学校運営協議会は、公開義務があり、傍聴が可能です。傍聴希望および今後の日程等については、学校(担当:教頭)までお問い合わせください。